



私の一番 長かった日

わすめた」といふくらいがあります。凡才の私は感激したものです。生死をかけた剣の道と比べ、くちもない私の小さな体験です。中学生のころ、弁論部員として母校を代表し県下の青年弁論大会に出たことがあります。弁論は練習だと教えられていた私は、一月月の毎日子真山の巖頭に登り、同じ原稿で発声や態度の練習をやりました。大会当日は終始他のどの弁

忍苦の精進・捨身一撃

明石三郎

『宮本武蔵』という小説があり、その中では教えられることが多かった。たとえば沢庵禅師と本阿弥光悦とが、佐々木小次郎と宮本武蔵とを比較して論じ、光悦が「小次郎は剣の天才だが、武蔵は凡才だ。しかし武蔵は努力に努力、精進工夫に工夫を重ねて、それがこゝとあるとき天才的ひらめきを現

[illegible]

合格発表を待つ時

村尾能成

頭が痛い。時間が欲しい、時間が足りない、とあれこれ工夫していてもどうもうまいかない。といって、毎日を有効に過ごしていったら、毎日でもなく、時に長く感じるともある。そんな自分に悩んでいる時、表題にあざわしい原稿を依頼されるとは皮肉なものである。記憶をたどり、思い出そうとして

[illegible]

北 欧 か ら
ニ ュ ー ヨ ー ク へ

[illegible][illegible]

・ 煙 噴 山 焼 煙 徒 徠 の 図

つていたかも知れない。

四日後、雨の近で千景と夫三郎の遺体が発見されたという。この報に、未だ知らぬ人々に対する哀の聲を述べた。

「一日の雨が千景と三郎の二日の雨を代へてくれたのだ。」

安喜博彦

ていた二萬員強の年俸が短縮せられたことはもう一つであるが、在學年限も、本の三カ年が、昭和十四年度の入学について延ばすやうに、昭和十四年度は二年、昭和十五年は三年と、いわれ、昭和十五年の卒業生は三年で卒業することになり、従つて年俸も三年で卒業するに、従ふ認められ

料の昇格人員は〇名であり、応募資格は、金閣大学の法・経・商の卒業生と、昭和十四年九月卒業者と定められていた。しかもこの試験の競争率は、二〇

のなかか、個々の科目を交換して、當時に不足したところがあるが、非常に手堅いところのあるが、全科目が終了したときは、長閑の緊張と精神的な追いつて、

尾崎康夫

三十七年前の
六月のある日

尾崎康夫

として、今なお、記憶されている。昭和七年六月の、陸軍経理官清浦大輔採用試験を受験した、蒔し景かた一旦ある。当時、日本は、すでに、昭和十六年十一月に、米、英、蘭、露四國宣戦布告を行い、第二次世界大戦に突入している。戦争行為のための人員を確保するために、従来認められていた差別と別格とは、同じく入るに同じに奉仕するのと同じに奉仕するの知や培養して英米に劣る、最も有効に活用出来る時に於いて奉仕したいと、考え、そのような条件に必要よく合致する行進出来ること、当然で、私は、昭和十七年の主計を担任された。目、開聞の時間中で実施せられた。私は、東京某私立学校の一教室を受験したが、この試験は、一度敗れたが、再度、挑戦する。二、三、ほとんど不可能であり、失敗敗れた。十月以降の運命が、そのものになるか、全分分らない、不安を担任がらの奨励であった。そ

山小屋での数日

大岩正志

タツシは「兄さん、その分、お返しに」といふので、
とては極端に「兄さん、その分、お返しに」といふので、
に、講義以外には、時間的制約
されることはなし。しかし、
つてゐたのである。昨年以降
の自分の生活をふり返つて見る
と、目も鼻も口も、速に、何
かを通じて、いささか過勞味
つた、冬休に入つて、少し休
と云ひたいような状態である。

学生部短信

心算」とは、もちろん大学の算や専攻の問題が中心になるのは當然だが、それを受ける前にして、学生生活や下宿、アルバイト、奨学金などがある。本の場合、おそく五に二人は宿生、金銭面の十割はほかの奨生で、こつとて学費を支へ、諸は聞かぬけれど二三とては維持してゐる。受給生生活が卒業後でも学生生活の流のまゝでつづけたらつて、若者のガイドをしてあげよう。

へ入学後の住居

生活の基本は衣食・住・生、住の第一である。入学の準備の間は随分地帯から入学の場合に通はれることができて、下宿の場合、本学は東京や京都、下宿へつて、かなと思ふれし、押入れにあらが、「型」とおのづから下宿を探してはむい苦勞である。昔は、昔のものにない住居

に学生を預かり、思ふやうに自然面を見せやうといふ宿は、ついで、ほとんがバリエ型となつて、ほとんが、有物棚二五畳一六坪の宿銀一棟二二三とていた規模が多い。共同利用備とて、炊事場、洗濯、貯蔵、給湯、トイレ等が、宿舎には排水は水はけの普通で、高校時にから懸にせられていたが、結構、このバー形式

[illegible][illegible]

学 部	年 度	本 学 試験場	地 方 試 験 場										合 計	増 減
			金 沢	名古屋	高 松	広 島	福 岡	鹿児島	札幌	東京	地方計			
第 1 部	法	54	8,011	99	489	194	227	314	64	56	277	1,720	9,731	30
	53	7,882	99	417	206	223	242	66	59	235	1,647	9,429		
	文	54	10,123	166	669	277	298	328	50	83	340	2,511	12,327	△ 73
	53	11,108	183	544	381	253	248	63	53	241	1,968	13,076		
	経 済	54	11,929	160	462	271	236	367	95	52	175	1,822	13,751	△ 4,471
	53	15,394	285	766	523	401	476	139	52	172	2,898	18,290		
	商	54	11,783	150	625	226	259	365	63	55	233	1,979	13,759	1,471
	53	11,163	107	204	173	173	246	35	18	164	1,123	12,286		
	社 会	54	11,623	108	368	105	186	255	38	38	201	1,387	13,016	3
	53	11,504	95	412	217	205	266	60	33	189	1,482	12,986		
第 2 部	工	54	10,364	204	1,010	263	254	341	112	62	175	2,421	12,785	△ 8,635
	53	12,997	393	1,881	437	324	520	140	70	173	3,438	16,435		
	計	54	63,842	887	3,623	1,432	1,460	1,970	418	246	1,401	11,537	75,379	△ 7,065
	53	70,050	1,164	3,744	1,937	1,581	1,993	505	290	1,176	12,394	82,444		
	法	54	1,418	5	74	18	21	81	6	2	15	167	1,585	3
	53	1,394	8	62	9	12	83	14	1	13	152	1,546		
	文	54	914	8	74	4	17	19	3	4	25	154	1,088	△ 15
	53	1,073	6	56	13	10	28	7	1	30	149	1,222		
	経 済	54	1,484	6	18	11	8	20	4	7	15	89	1,573	△ 46
	53	1,921	9	24	11	12	29	11	5	16	117	2,038		
第 2 部	商	54	1,121	6	28	7	6	20	3	0	8	78	1,199	3
	53	1,105	5	17	5	10	11	3	0	10	61	1,167		
	社 会	54	1,079	2	42	3	9	6	2	0	8	72	1,151	13
	53	902	1	26	4	6	12	3	0	7	61	983		
	計	54	6,016	27	236	38	61	99	19	13	71	590	6,576	△ 36
	53	6,396	29	185	42	52	111	38	7	76	540	6,936		
	第 1 部・第 2 部 合 計	54	69,858	914	3,859	1,470	1,521	2,069	438	359	1,472	12,097	81,955	△ 7,421
	53	76,446	1,193	3,929	1,979	1,633	2,107	544	297	1,252	12,934	89,380		

(注) △は敗を表わす

合格発表は12、13日

発表します。
合格発表

月十日(月)十二時

第一節

文学部 千里山第一學舎
文学部 千里山第一學舎
社会部 千里山第一學舎
経済部 千里山第一學舎
文学部 天六學舎

第二節

社会部 天六學舎
経済部 天六學舎

月十日(火)十一時

第一節

工学部 千里山第一學舎
商学部 千里山第一學舎
法学部 千里山第一學舎
文学部 天六學舎

第二節

工学部 千里山第一學舎
商学部 千里山第一學舎
法学部 千里山第一學舎
文学部 天六學舎

合格知書の交付

① 本学試験の合格者は、発表日の十時から十時三十分の間に合格通知書、入学手続案内、学費納入用紙等を交付しますが、十五時までにこれらの書類の交付を受けなかった者に限り遅速郵送します。

② 別所試験受験の合格者は、合格通知書等の書類はすべて速速郵送します。しかしつて即ち試験受験の合格者は発表日より、合格通知書等の書類は、一切交付をしません。不合格者の通知

不合格者の通知

不合格者については文書でもって通知いたします。

票があり、下宿の細や席の受けがたが合格通知されてから、入学手続書類を提出を大あてて返送すると、各組の入学手続関係書類とともに「学費要領」がなされてくる。これは履修のしかたから履修規則まで、学生と知りておくべきすべてが詳述されていて、すべて精読されるべき仕組になっています。

また入式式後四月九日が十一月まで行われる新生指導員行事日程を経るべきならよく理解できるところ。この期間中に開かれる養老金制度説明会では一般的な学費説明と出願ガイドでは扱われて行われず決定されている。

るない。まずは、募集時期を早述
さないことである。

る。まず、募集時期を早送
らないことである。

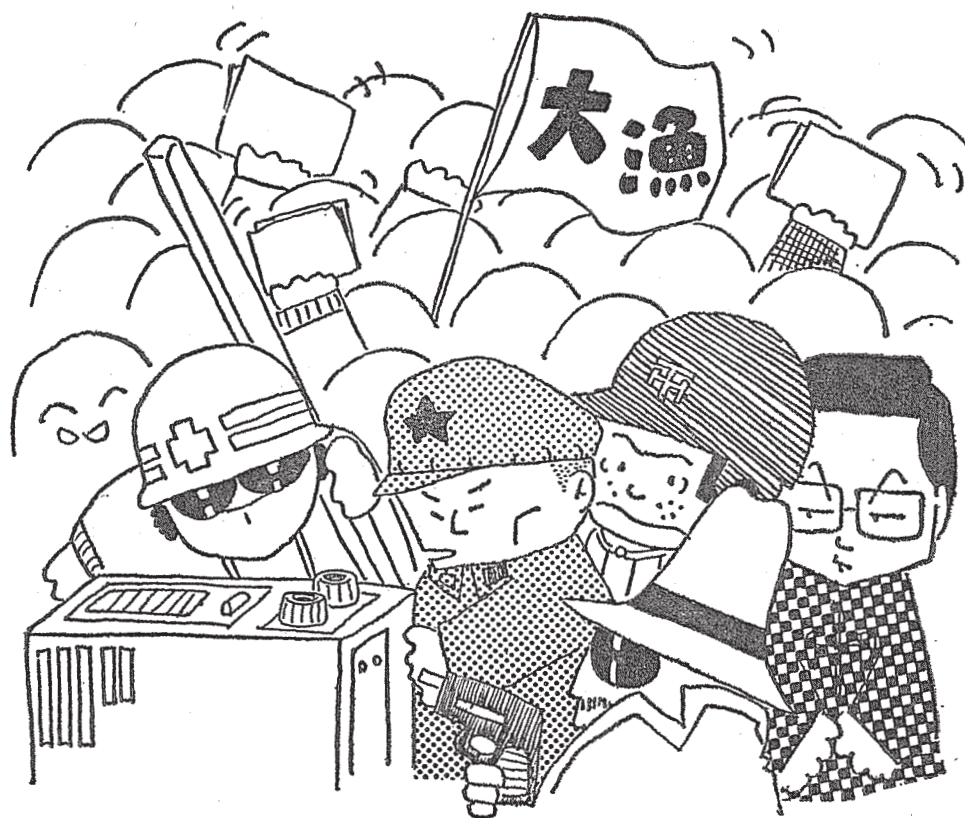


春

◀ 入学式



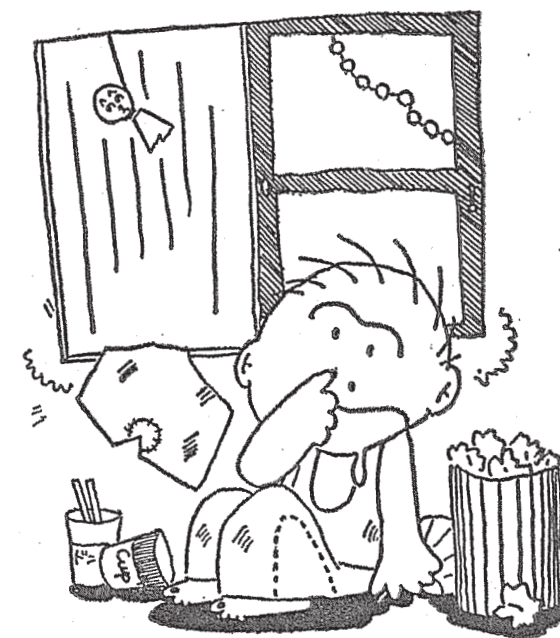
▲ 新歓コンパ



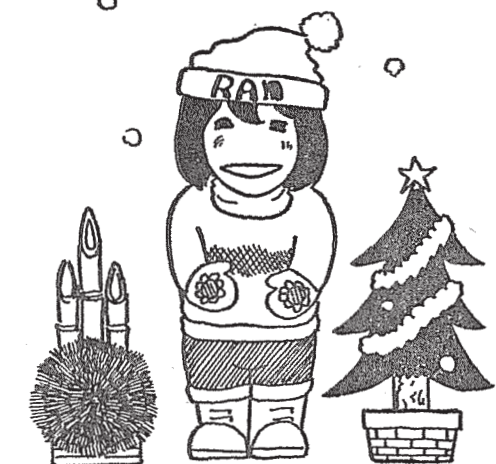
▲ 後期試験! (コピー機は おーはやり)

CAMPUS LIFE '79

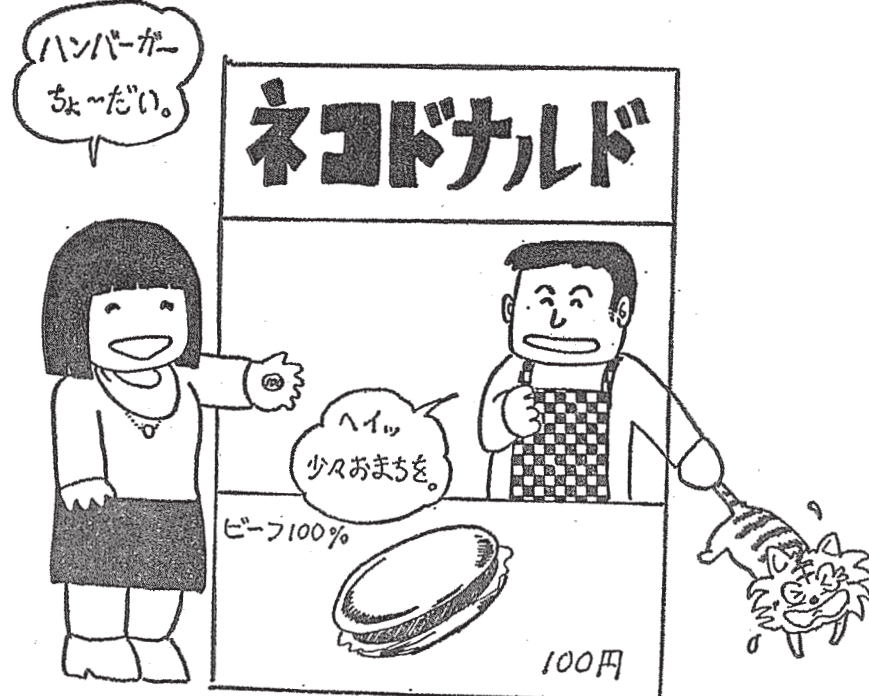
下宿生活 ▶



冬



▶ 学園祭



秋

漫画同好会MD

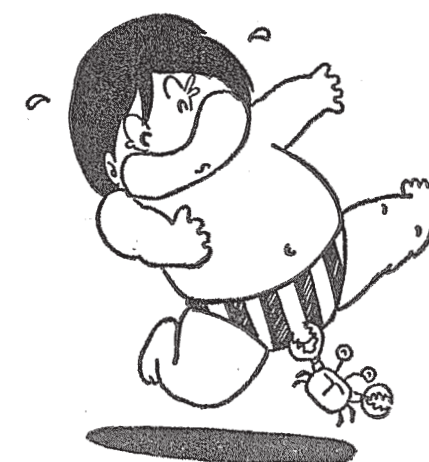
▼ スポーツ週間



▼ アルバイト



夏



私か、もつとも甚大なるドラマをみたのが、エジプトのカルナックにおいてであつた。「ソン・エ・リュミエール(音と光)」という、夜のスペクタクルがフランスではよく懂されるが、これはどう

「他のどの国とも異なっていた。歴史的廃墟すらが「兵どもの夢の跡」であつただけでなく同時に「現在」でもあつた。

あくまで多様な
パリの演劇

(文学部教授)

以上が磨り減つてゐる。このやうな侵蝕した小さな穴から下カゲの陰などには、部分によつては半分空の下、突きさすやうな目の光のちやうどみてるやう、目が眩むやう

やほのロンドンやストラトフォード・アポン・エイボンでみたシェクスピア劇が強く心に残っている。ミラノのスカラ座では、イターリアオペラならざるエリック・サチのモデルニスム的感覺の満ち満

は、一般的には曲芸やウィットワ
イル風の悪ふざけまで言んで使わ
れるが、ここでは日本の漫才や漫
談をもっと知的に処理したものと
思えばよいだろう。われわれが日
常生活のついでに、いへば当たり

てくるらしい距離で、コニヤックはコニヤックを傾けながらみているのだが、一人舞台で一時間余りも観客をひきつけて離さない演技力にはまことに感服した。日本でおなじみのサンテクシユペリの

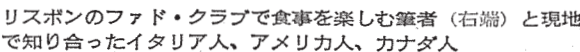
『授業』の上演を続けてすでに十二年間、上演回数も七千回を越すという超ロング・ランのユシエット座でも、百人も入れれば大入り満員といった程度の小屋である。

今シーズンの特色は、全体として昨シーズンの傾向がそのまま引き継がれていることにあるようである。相変わらず古典劇が盛である。モリエールでは、アン・ワヌ・ウィテーズが『女房堂』

「ウストウス博士」ソホクレ
とセネカによる『オイディプ
王』と並んで、エスパース・ビ
ール・カルダン劇場で上演されて
いる。

など、まさに演劇理論を地で行
行為でなかつたか。パリには、
問のできることが何でもあり、
でも行われている。

に「待ちに待った日」を迎えられ
れつゝを希望して、The
Longest day of the year
なども後者の方からいふから。
(星野・岡部)



► 編集後記 ◀